

✠025 バビロン Babylon

BC30 世紀頃、イラク中部（首都バグダートの南方約 90 km）にあった、メソポタミアの古代都市。バビロン第 1 王朝の首都。新バビロニア王国の当ても、世界都市として栄えた。

バビロニア名バビル、聖書ではバベルと呼ばれた。ユーフラテス川のほとりに位置し、シリアとペルシア、チグリス、ユーフラテス両川を結ぶ交通の要地として、BC19 世紀、バビロン第 1 王朝の首都となり、ハンムラビ王（都市国家バビロン第 6 代王。後に、メソポタミアに勢力を拡大しバビロニア帝国の初代王）時代に最も栄えた。ハンムラビの時代以降は守神マルドゥクの信仰を発展させ、宗教的にも重要な都市となり、後世の王たちはマルドゥク神像の手を握り、バビロンで即位式を行った。その後、ヒッタイトの侵入、アッシリアとの戦いで戦禍を被ったが、BC 7～6 世紀の新バビロニア時代にナボポラツサル、ネブカドネツアル（ネブカドネザル）2 世のもとで王国の首都として栄えた。BC539 年以後、アケメネス朝ペルシアの支配下に入り、クセルクセス 1 世（在位：BC486～465）の時、反乱を起こし破壊された。BC 4 世紀アレクサンドロス 3 世（大王）の時、帝国の首都に定められたが、彼の死後は次第に衰微した。

※バビロン＝「神の門」

※バビロン＝バビロニア王国、バビロン第 1 王朝、古バビロニア王国 ⇔ 新バビロニア王国

